

# 誠 市政報告書 上甲 誠 志かそ通信

「ともにさかそう笑顔とお互いさまのまち 阪南」～自分を取り巻く人や自然などの環境と繋がり、互いに慈しみ、思いやり、感謝し、自らができる役割を担いながら【お互いさま】、市民や各種団体、事業者、市役所が協働して【ともに】、市内に花を咲き誇らせ、緑を大切に自然を守る【花を咲かせる】、産業や地域資源を活かしてまちを発展させる【まちを栄かせる】、人（人財）を大切に【人を咲かせる】ことにより、市民みんなから笑顔がこぼれる【笑顔を咲かせる】まちにしていこう～「さかそう通信」お届けします。

### 「さかそう通信」の重要拠点①ー 防災コミュニティ等拠点施設について

パチンコ店跡地を有効利用

鑑定結果は1億8500万円

阪南市役所の横にある元パチンコ店で計画されています「防災コミュニティ等拠点施設」は、この6月補正予算で2300万円の不動産鑑定料、測定費用が計上されました。

鑑定結果は、土地が4100万円、建物1億4400万円、併せて1億8500万円となりました。その結果を踏まえ、現在、実施設計及び積算が行われています。

### 災害の避難所として活用可能

この建物は新耐震基準をクリアしており、近い将来必ず起こるとされている南海トラフ地震においては海拔の低い尾崎、福島地区の皆様への避難先として利用できます。

「そんなことより市役所の庁舎を耐震せんかいな」とのご指摘もいただきましたが、庁舎の耐震補強・大改修には莫大な費用がかかり現状では困難です。

また、万が一に災害が起き、市役所に災害対策本部が設置できない場合、この施設はその代替施設としても利用できます。

### 災害時以外でも有効（駐車場問題）

皆さんもお気づきのとおり、市役所・サラダホールは慢性的な駐車場不足が問題です。今回の防災コミュニティ施設は、2階から5階が駐車場で110台駐車可能で、その問題をも解消できます。

施設の内容としては、展示回廊や談話スペース、研修室、会議室、備蓄倉庫などが配置され、防災を通じて地域コミュニティの要となる予定です。

こんにちは。市議会議員の上甲です。もう12月。年々一年間が短くなっている気がします。朝晩冷え込みますが、どうか皆さんご自愛ください。

さて、「さかそう通信」12月発行の第15号は、見ての通り、いつもと少し違います。いつもは私がパソコンで力チャカチャと原稿を作成して、印刷をして、皆様にお届けするのですが、今回は、原稿を作成して、レイアウト等の構成を「プロ」にお願いすることになりました。

これは「情報は伝え方によって、イメージも効果も、そして記憶として残り方も全然違う」ことについての「実験」です。今回はいつもと違う「さかそう通信」で「情報の伝え方って大事だな」と感じていただければ幸いです。

### 今回の内容

阪南市の話題のニュース  
和歌山市滝畑地区の産廃施設について  
防災コミュニティ施設について  
小学校の整理統合について  
スマートウエルネスシティ構想  
（おまけ）保存版 阪南市の魅力20選（裏面）

### 阪南市SNS登録しましたか？

facebook twitter  
まだなら今すぐ検索して下さい！

### ほぼ毎日更新！ 上甲 誠 ブログ

## 人こそ街な

阪南市のお得情報、イベント、こんなことを知りたかったが満載!!



http://blog.zaq.ne.jp/mac.joe2/

### 子供達の学習環境の為に

小学校の整理統合と耐震工事  
市民の皆様のご協力が必要です。

この計画は少子高齢化対策、教育環境整備を目的として平成18年11月に「小中学校及び幼稚園の整理統合・整備計画」として策定され、平成24年2月には計画の調整、見直しが行われました。

計画実施としては3つです。

○幼稚園の統合（すでに統合済み）

○学校校舎の耐震工事

○小学校の整理統合

### 学校の耐震工事はほぼ完了しました

学校施設の耐震化について、阪南市の小中学校のすべての体育館は耐震化されています。校舎もほぼ80%が耐震化しています。今年西鳥取小学校・舞小学校の耐震化が完了する予定です。

### 小学校の整理統合計画は協力が必要

平成25年4月に尾崎小学校・福島小学校が統合されました。地域の皆さん、保護者の皆さんの多大なるご協力があり、同級生の数が増えた子ども達は、仲良く元気に、楽しく学校で学んでいます。

現在、平成28年実施予定の朝日小学校・朝日小学校山中分校の統合計画と、下荘小学校・箱作小学校の統合計画が進められています。地元の方々の皆さんへの説明会が各地で行われています。

同時に平成29年実施予定の東鳥取小学校・波太小学校の統合計画も少しずつ動き出しています。いずれにしても、尾崎小学校がそうであるように、充実した学校生活のためには、たくさんの仲間と一緒に学ぶことは重要であ

## 阪南市の話題のニュース

### 山から川へ川から海への大問題

#### 和歌山市滝畑地区の産廃廃棄物最終処分場の設置計画

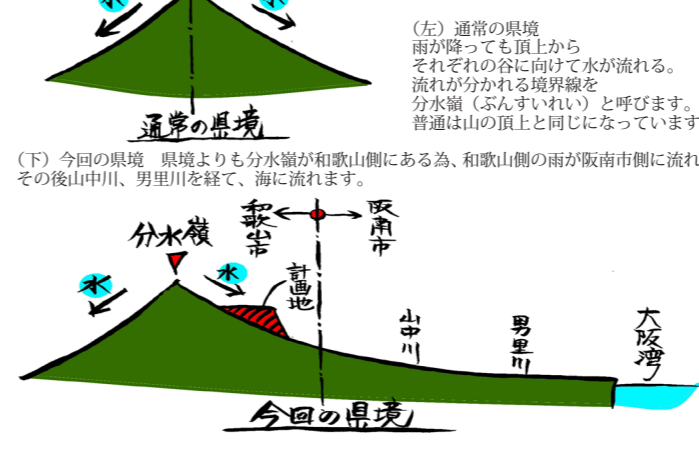
男里川の上流、山中川の上流で計画されている産廃廃棄物最終処分場（以下「産廃施設」）の設置計画の問題についてです。

この計画の一番の問題は

### 水資源への悪影響が不透明

この施設は和歌山市にて建設が計画されています。この計画地に問題があります。左の図のとおり、通常は分水嶺と呼ばれる、雨水の分岐点と県境は同じ。その為、自分の県や市に流れた雨水は、自分の県や市に流れ込むのが一般的。しかし、今回の場所は、分水嶺と県境が違う為、和歌山市に降った雨が

## 分水嶺とは？



り、子ども達の元気の原因であり、楽しみの一つとなる。そう思っております。一点、「通学路の安全確保の問題」だけは、必ずクリアしなければなりません。地域の皆さんと保護者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠になります。どうぞよろしく願います。

### スマートウエルネスシティ構想

#### いつまでも健康で暮らせるまちを作る

#### 市民と市が一体になって行う活動です

議会への素案提出、パブリックコメントを経て、この9月に「阪南市スマートウエルネスシティ基本計画」が策定、発表されました。

「高齢になっても地域で元気に暮らせる社会をめざし、阪南市はこのスマートウエルネスシティ（略してSWC）を進めていきます。

### SWCの主な活動

① 食文化の向上

② スポーツ・生涯学習の活性化

③ 産業振興・都市基盤整備

## 健康に！幸せになる！

### SWCのメリット

① 市の医療費・国保料が下がる

② 子育て・教育の活性化

③ 阪南市の発展

簡単に言うと、健康になることで、病院に行く回数が減り、医療費が減ります。医療費が減るといことは、国保の場合、市が負担する費用も減るので、市の財政にも余裕が出る為、国保料の引き下げや、子育てや教育の手厚い補助を行うことが可能となり、それが阪南市の発展に繋がるとい考え方です。

SWCの構想は拠点別に分かれています。

（右下図をご覧ください）

阪南市に流れ込むことになるのです。現状は問題ありませんが、今後、施設を経由した排水には不安があります。その対応等が気になるのですが、ここにもう一点の問題があります。

### 事業者の説明が不十分

この施設は民間の事業者が設置、運営します。しかし、事業者による和歌山市民、阪南市民への説明が不十分で不信任が溜まっています。つまり、水質汚染に繋がる可能性があるのにも関わらず、十分な説明が無い為、阪南市にとつては、現状では、深刻な問題と、不安しか無い施設なのです。

本年4月、全会一致で和歌山市に要望書を提出した、我々市議会では、現在「我々に何かできることはないだろうか」と、議論と検討を行っています。大切なことは阪南市民がみんなでの問題に興味を持ち、認識し、阪南市の将来、子ども達の明るい未来のために、しっかりとチェックしていくことです。市民の皆様のご協力がなければ、この問題は解決することはできません。

### 和歌山市産廃施設建設計画についてのこれまでの経緯

23年	1月	和歌山市において事業各事前協議開始
	4月	和歌山市にて事業計画説明会（本市から和歌山市に意見書）
	7月	阪南市常任委員会にて説明
24年	1月	阪南市と事業者が事前協議（本市から和歌山市に追加意見書を提出）
	6月	事業者が阪南市住民説明会
	9月	阪南市東鳥取連合自治会が和歌山市に要望書提出、阪南市市長も同行
25年	12月	阪南市議会議員、副議長（当時、上甲）、厚生文教正副委員長で和歌山市議会に訪問
26年	4月	阪南市議会が全会一致で和歌山市に要望書提出
	11月	阪南市自治会連合会（阪南市全体）が和歌山市に要望書提出、阪南市市長も同行

## スマートウエルネスシティ（SWC）の基本構想

各拠点に役割をもたせ、拠点間の協力連携を行うことで、新しい価値を生み出します。

### にぎわいのある市街地拠点

医療拠点（市民病院）  
駅前再構築（尾崎駅）  
健康拠点（保健センター）  
防災コミュニティ等拠点施設

### 和泉鳥取駅の整備

バリアフリー化  
駅周辺の整備

### 自然（山）歴史文化拠点

エコツーリズム  
歴史街道の石畳の活用  
熊野古道体験  
民間活力の活用

### 拠点間の連携

トレイルランニング  
トレッキング・ハイキング  
サイクリングロード  
レンタルサイクル  
海岸ウォーク

### 自然（海）レジャー拠点

マリンスポーツ  
青空市場（直販所）  
公共施設の利活用  
健康遊具の設置

### 市全域

健幸マイレージ  
街歩きツアー  
ウォークラリー  
モビリティマネージメント  
総合交通輸送システム  
地域コミュニティ醸成

こうしてみると魅力的なキーワードがたくさんありますね。

これら全てを、ひっくるめて、「健幸都市 阪南 オンリーワン」

と、なるのがこの構想なのです。我々議員もこれからしっかりと提案、チェックし、市民の皆さんと共に阪南市の将来について考えたいと思います。

最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございます。これからも一生涯懸命頑張ります。ブログ・上甲誠後援会も含めて、阪南市議会議員 上甲 誠を今後ともよろしくお願ひします。

阪南市議会議員 上甲 誠